

英 語

1 教育課程の編成

(1) 教科の目標を達成するための教育課程上の留意事項

専門教科「英語」においては、「話すこと」、「書くこと」における発信力の強化や、高校生の卒業後の進路の多様化などに対応するため、より高度で専門的な科目として、五つの領域を総合的に扱うことを一層重視する科目「総合英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」を、また、高度な発表、討論・議論、交渉等を通して、「話すこと」、「書くこと」によるコミュニケーションの力を高める学習の充実を図る観点から、「ディベート・ディスカッションⅠ・Ⅱ」及び「エッセイライティングⅠ・Ⅱ」を設けるなど、科目構成や各科目の内容構成等の改善を行ったことを踏まえ、適切に教育課程を編成することが重要である。

(2) 各科目における標準単位数や履修における順序性等

各科目における標準単位数及び履修における順序性等は、次の表に示すとおりである。なお、「総合英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」は、「ディベート・ディスカッションⅠ・Ⅱ」及び「エッセイライティングⅠ・Ⅱ」と並行履修させることが可能である。

	総合英語Ⅰ	総合英語Ⅱ	総合英語Ⅲ
標準単位数	3～7	4～8	4～8
履修の条件	必履修	「総合英語Ⅰ」履修後 (又は英語科以外において、「英語コミュニケーションⅠ」履修後)	「総合英語Ⅱ」履修後
特徴	(Ⅰ～Ⅲ共通) 五つの領域別の言語活動及び複数の領域を結び付けた統合的な言語活動を通して、英語によるコミュニケーションを図る資質・能力を一層伸ばすために…		
	五つの領域の総合的な指導を行う科目。	五つの領域の総合的な指導を <u>発展的</u> に行う科目。	五つの領域の総合的な指導を <u>生涯にわたる自律的な学習</u> につながるよう <u>発展的</u> に行う科目。
目標	(Ⅰ、Ⅱ共通) 聞いたり読んだりしたことの… 概要や要点を目的に応じて捉え、	概要や要点、 <u>詳細</u> を目的に応じて捉え、	
	(Ⅰ～Ⅲ共通) 多様な語句や文を…		
	用いて、	目的や場面、状況などに応じて <u>適切</u> に使って、	目的や場面、状況などに応じて <u>効果的</u> に用いて、
	情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して	情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して <u>詳しく</u>	情報や考え、 <u>課題の解決策</u> などを <u>幅広い視点</u> から <u>論理的</u> に詳しく
	(Ⅰ～Ⅲ共通) …話したり書いたりして伝える又は伝え合うことなどができる。		

	ディベート・ディスカッションⅠ	ディベート・ディスカッションⅡ
標準単位数	2～6	2～6
履修の条件	必履修	「ディベート・ディスカッションⅠ」履修後
特徴	(Ⅰ、Ⅱ共通) 「話すこと [やり取り]」の言語活動及び複数の領域を結び付けた統合的な言語活動を通して、ディベートやディスカッションなどの「話すこと [やり取り]」を中心とした…	
	発信能力及び論理的な思考力や表現力の育成を強化する指導を行う科目。	発信能力及び論理的な思考力や表現力の育成を強化する指導を <u>発展的</u> に行う科目。

目標	資料を的確に活用し、	複数の資料を的確に活用し、
	(I、II共通) 多様な語句や文を…	
	用いて、	目的や場面、状況などに応じて効果的に用いて、
	(I、II共通) …賛成又は反対の立場をとった上で、論理的に一貫性のある議論を展開する。	
情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して	他者の意見などに配慮しながら自分自身の意見を主張などを	
(I、II共通) …詳しく話して伝え合うことができる。		

	エッセイライティング I	エッセイライティング II
標準単位数	2～6	2～6
履修の条件	選択履修	「エッセイライティング I」履修後
特徴	(I、II共通) 「書くこと」の言語活動及び複数の領域を結び付けた統合的な言語活動を通して、複数の段落から成るエッセイなどを書くことを中心とした… 発信能力及び論理的な思考力や表現力の育成を強化する指導を行う科目。	発信能力及び論理的な思考力や表現力の育成を強化する指導を発展的に行う科目。
目標	資料を的確に活用し、 (I、II共通) 多様な語句や文を… 用いて、 情報や考え、気持ちや、意見や主張などを、論理の構成や展開を工夫して	複数の資料を的確に活用し、 (I、II共通) 多様な語句や文を… 目的や場面、状況などに応じて効果的に用いて、 意見や主張などについて、読み手を引きつけたり説得したりできるよう、幅広い視点から論理の構成や展開を工夫して
(I、II共通) …複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができる。		

2 指導計画の作成と内容の取扱い

(1) 指導計画作成に当たっての配慮事項

外国語科に準ずるため、外国語の2(1)「指導計画作成に当たっての配慮事項」を参照すること。

(2) 内容の取扱いについての配慮事項

ア 「総合英語 I・II」における学習内容は、基本的には「英語コミュニケーション I・II」の内容に準ずるが、本科目が専門教科に属する科目であることを踏まえ、より自律的な学習を目指し、「英語コミュニケーション I・II」より少ない支援を活用して、専門科目としてふさわしい内容を取り扱うことが求められる。

イ 「総合英語 III」については、「英語コミュニケーション III」を発展させた内容となっていることに留意する必要がある。

ウ 「ディベート・ディスカッション I・II」及び「エッセイライティング I・II」では、「論理・表現 I」及び「論理・表現 II」の内容を参照した上で、専門科目としてふさわしい内容を取り扱うことが求められる。

エ ア～ウ以外の事項については、外国語科に準ずるため、外国語の2(2)「内容の取扱いについての配慮事項」を参照すること。